

人と緑 心ふれあう交流のまち



あさご ASAGO ナビ

朝来市議会

議会だより 第30号

2011(平成23)年4月28日発行

立雲峡の桜と竹田城跡



大蔵こども園入園式

■第10回(2月)臨時会 ■第11回(3月)定例会

平成23年度予算審議	2～7
予算特別委員会審査意見	8～9
その他の議案	10～11
市政を問う／代表質問、一般質問	12～18
一部事務組合議会報告	
2月臨時会の概要・議会の動き	19
議会広報特別委員会視察ほか	20

一般会計 201 億 6000 万円
 特別会計 86 億 8570 万円
 企業会計 13 億 578 万円

5148 万円

予算を慎重審議！



平成23年度 重点施策

子育て応援・子どもたちに希望を

地域・若者に活力を

市民生活・高齢者に安心を

3月定例会は、2月28日から3月30日までの会期で開き、市長から提出された条例改正、補正予算、指定管理者の指定などを審議しました。平成23年度予算は予算特別委員会で、そのほかの議案については各常任委員会で慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

■第3子以降に10万円支給

出生祝金支給条例の制定

次代の朝来市を担う子どもの健やかな育ちの支援及び福祉の向上等を図ることを目的として、5年間の期限付きで、平成23年度から平成27年度の間に生まれた第3子以降に対しお祝い金10万円を支給する。

主な質疑

問 第1子からお祝い金を支給しているところもあるようだが、第3子からとした理由は。

答 合併前の旧和田山町で第3子から、旧生野町で第2子からお祝い金を支給していた。県下の状況等から第3子以降とした。

問 出産費用負担のことを考えれば第1子からお祝い金を支給する考えはないか。

答 第3子からの支給、金額的なことなどいろいろ議論があるが、その他の施策として未婚者交流支援、妊婦健康診査費助成、特定不妊治療費助成など広く子育て世代への経済負担助成を行っていききたい。

問 5年間の期限付きとしたのは、なぜか。

答 旧町でのお祝い金支給は10年間だったが、5年間の終了後は、実績や状況等を考慮して見直していきたい。

第3子以降としたのはなぜか？
 期間限定の5年後はどうするのか？

答 子育て応援は他の施策で対応5年後には状況をみて検証する。

支所等提案型地域活性化事業って？

地域のやる気、頑張りを支援する事業のことで、朝来市民がどこに住んでいても、いきいきと暮らせるまちづくりを応援、推進するため市内4地域でさまざまな事業を実施します。（実施期間は3年間）ご自分の地域の事業については各支所・和田山地域振興課へ。



▶平成 23 年度一般会計予算を重要な案件と判断し、記名投票で採決しました。

3月定例会

総額 301 億

朝来市発足 7 年目
平成 23 年度

平成 23 年度
一般会計予算

反対
2

賛成
15

賛成多数で可決

吉田 上道 丸尾 木村 坪内 中島 山本 上谷 日下 吉田 太田 横尾 波多野 大田 村田
富郎 正明 行子 圭介 一由 利信 正之 廣志 茂平 俊之 則之 正信 優強 公夫

賛成

鈴木 岡田
逸朗 和之

反対

記名投票の
結果

平成 23 年度予算の主なもの

子育て応援！ 未来の子どもたちに光を！

- 第3子に出生祝金 10 万円支給（今後 5 年間のみ）
- 特定不妊治療に助成金（県制度に上乗せ）
- 医療助成、保育料軽減も継続
- 小中学校のエアコン設置（繰越事業）

市民の健康づくり！

- あさご健康・医療電話相談ダイヤル 24（相談料無料）
- 新病院建設検討（梁瀬・和田山医療センター統合問題）
- 働く世代へのがん対策（各種がん検診実施）

地域への活力支援！

- 支所等提案型地域活性化事業スタート！
生野地域・・・高齢者買い物支援他
和田山地域・・・和田山みらい・夢プロジェクト他
山東地域・・・まちなか活性化プロジェクト他
朝来地域・・・生活排水浄化事業他（えひめ A 1 培養）

予算質疑

問 子育て応援事業の PR としてパンフレットを作成するとのことであるが。

答 少子化対策プロジェクトチームを設置して昨年度から取り組んできた成果を 23 年度予算に反映している。
「未来の親づくり、子育て支援メニュー一覧」のパンフレットを作成する予定。

問 個人市民税が減となった要因は。

答 景気の低迷等もあり、生野地域にあった東京応化工業（株）の閉鎖等による従業員の減等が大きな原因の一つと考えている。

問 定住自立圏構想の調査研究として何をメインに考えているのか。

（次ページへつづく）

基金問題への対応は？ こども園のエアコン設置は？

答弁 売り手側（証券会社）との交渉を進める
今年度改築予定のこども園について
予算計上している

予算質疑つづき

問 メインと考えているのは周産期センターの設置。

答 定住自立圏構想は、但馬3市2町（豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町）が広域的に連携をして取り組むもので、豊岡市を中心市として、但馬地域の生活機能の強化や結びつき、ネットワークを強化することを目的としている。今年度は事業内容について3市2町で検討する予定。

問 小中学校のエアコン設置について進めるとのことであるが、こども園についてはどうか。

答 23年度は、糸井・竹田・東河のこども園について予算計上している。

問 庁舎整備を進める上では、基金問題の解決が必要と考えるが、今後の基金問題への対応策は。

答 証券会社（売り手側）との交渉の準備に着手する予定。

交渉の進め方としては、法的手段及びADR（裁判外紛争解決制度）を検討している。

問 カーボン・オフセット事業についての展望は。

答 今年度は、市が過去に取り組んだ施業をクレジット交換するための、認証機関への手続きを進める。合わせて購入してもらええる企業についても探す予定。

庁舎整備
基金問題
病院問題について、
一般質問でも
多数質問がありました。そ
ちらもご覧ください。

議会あれこれ

議会での採決ってなに？

市長から提案された案件について議会では、議長を除く過半数の議員の賛成があれば「可決」となり、そうでない場合は「否決」となります。

この「可決」か「否決」を決める際、賛成の議員が何人いるかで、決を採ることを「採決」といいます。

朝来市議会の場合は、賛成議員が起立することによりその可否を決める方法（起立採決）と、各議員が氏名を公表して「反対」あるいは「賛成」の札を投じる方法（記名投票）、または簡易採決といって、可決することに異議がないか議長が議員に問う方法の3つの方法で行っています。

記名投票は、反対は青色、賛成は白色とし、表にはそれぞれ議員の氏名が書かれています。反対をする議員は青札を、賛成をする議員は白札を投じます。また投票結果は公表することになっています。

3月定例会では、平成23年度予算について、記名投票を行いました。

（※結果は3ページに掲載しています）



※カーボン・オフセットとは

市民、企業、自治体等が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、これを削減する努力を行うと同時に、削減が困難な部分の排出量について、他の場所でも実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（以下「クレジット」という）を購入すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることをいう。

つまり：

どんなに頑張っても削減努力をしても、どうしても二酸化炭素などの温室効果ガスは排出されてしまいます。こうしたとしても排出されてしまう温室効果ガスを、別の場所での削減・吸収活動に資金を提供することで埋め合わせようというのがカーボン・オフセットの考え方です。

反対

■但馬空港利用促進より中小企業や市民が喜ぶ住宅リフォーム制度等への予算組替えが有効だと考える。

賛成

■昨年度に比べ、福祉予算は増となっている。しかし経常収支は若干好転しており、評価できる。



討論

特別会計予算

下水道料の改正

昨年の11月臨時会において、議会は賛成多数で条例改正を決定しました。

(詳細は議会だよりNO.28 P4)

平成23年4月から、市内一律料金が統一されています。

●基本料金(10㎡まで) 1,500円

討論

国民健康保険特別会計

反対

■今回の保険税の引き上げは、低所得者に対するしわ寄せである。引き下げについて検討すべき。

賛成

■市民の健康を守る国民健康保険制度の維持のためには、応分の負担は必要。

介護保険特別会計

反対

■基金を活用すれば保険料の引き下げは可能である。市民負担の軽減を求める。

賛成

■要介護者の重度化は顕著、将来財政は厳しいものがある。多少の基金を保有しても今後の状況に対応すべき。

下水道事業特別会計

反対

■4月から値上げされる下水道料金が反映された予算である。市民の生活は困窮しており値上げするべきでない。

賛成

■料金改正は既成の事実。下水道事業の財政状況は非常に厳しく応分の負担は必要。

後期高齢者医療特別会計

反対

■健康上、リスクの高い高齢者を別勘定にした保険制度には反対。制度を廃止すべき。

賛成

■都道府県単位で設置された高齢者医療制度である。国が検討している新たな医療制度に期待をしつつ、現状では現行の医療制度は維持する必要がある。

平成23年度予算一覧

(単位：千円)	
会計の別	予算総額
一般会計	20,160,000
住宅資金貸付事業特別会計	5,200
国民健康保険特別会計	3,404,700
簡易水道事業特別会計	30,200
と畜場特別会計	3,100
宅地開発事業特別会計	50,000
休日診療所特別会計	11,200
下水道事業特別会計	1,329,300
介護保険特別会計	3,425,700
後期高齢者医療特別会計	416,200
財産区特別会計	10,100
水道事業会計	1,301,021
工業用水道事業会計	4,761
合 計	30,151,482

人 事 案 件

固定資産評価審査委員会委員4人の同意案件が提案され、これに全会一致で同意しました。

【固定資産評価審査委員会委員】

上田 繁(生野町川尻)

衣川賢治(和田山町宮)

中島一茂(物部)

西垣悦男(山東町栗鹿)

人権擁護委員の推薦(諮問)

任期満了による人権擁護委員について5人が推薦され、全会一致で適任と認める答申を行いました。

【人権擁護委員】

白瀧迪子(生野町奥銀谷)

岡田脩一(和田山町弥生が丘)

足立賢一郎(山東町大月)

大杉和子(山東町栗鹿)

中島隆幸(伊由市場)

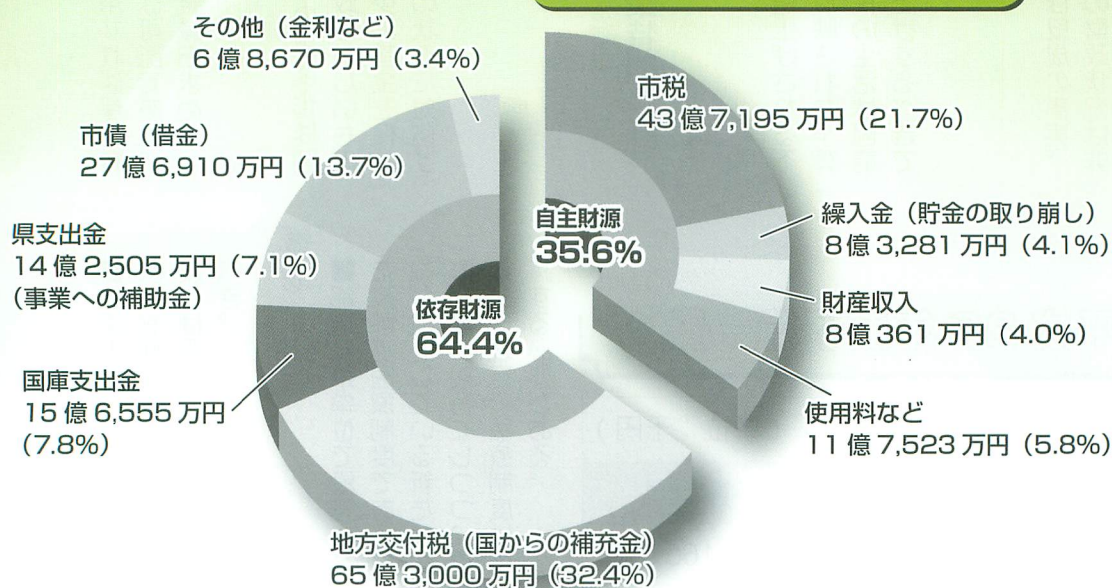
●23年度当初予算

福祉と教育に重点の予算

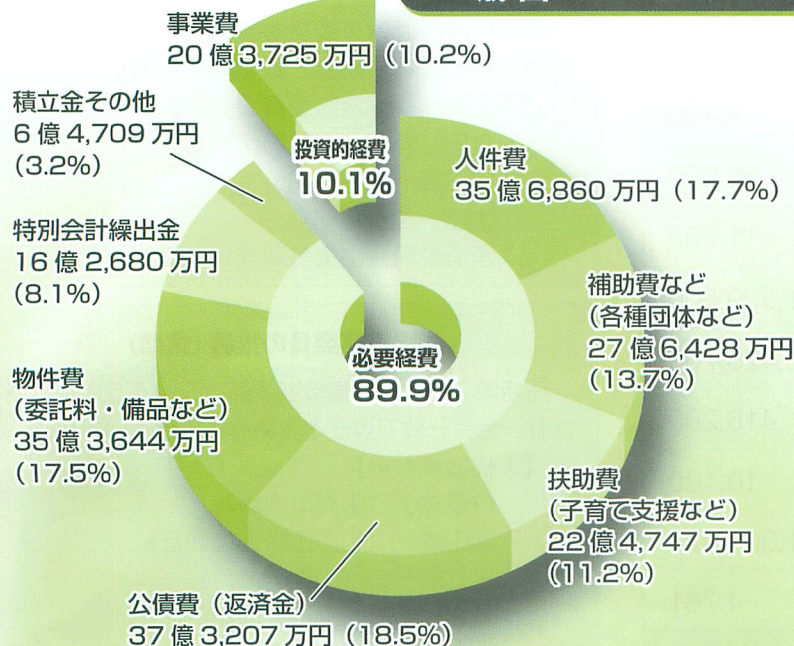
一般会計歳入歳出予算の内訳

前年度比 8.9%増	一般会計	201 億 6,000 万円
前年度比 1.0%増	特別会計	86 億 8,570 万円
前年度比 0.1%減	企業会計	13 億 578 万円

歳入 201 億 6,000 万円



歳出 201 億 6,000 万円



特別会計等当初予算の内訳

住宅資金貸付事業	520 万円
国民健康保険	34 億 470 万円
簡易水道事業	3,020 万円
と畜場	310 万円
宅地開発事業	5,000 万円
休日診療所	1,120 万円
下水道事業	13 億 2,930 万円
介護保険	34 億 2,570 万円
後期高齢者医療	4 億 1,620 万円
財産区	1,010 万円
水道事業	13 億 102 万円
工業用水道事業	476 万円
合 計	99 億 9,148 万円

主 な 事 業 と 事 業 費

庁舎整備費（基本計画及びボーリング調査）	1,506 万円
省資源及び省エネルギー推進事業	1,035 万円
地域自治協議会支援費	6,356 万円
支所提案型活性化事業（生野地域）	596 万円
支所提案型活性化事業（和田山地域）	1,221 万円
支所提案型活性化事業（山東地域）	630 万円
支所提案型活性化事業（朝来地域）	866 万円



朝来支所に設置されている
ペレットストーブ



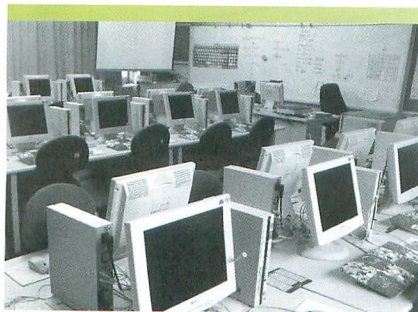
こども園に改築予定の東河保育所

老人クラブ助成費	1,634 万円
障害者自立支援給付費	4億1,385 万円
子ども手当	6億6,657 万円
出生祝金支給事業（第3子以降10万円支給）	500 万円
乳幼児等医療費助成事業	5,484 万円
幼保一元化施設整備事業（こども園整備）	8億63 万円
生活保護扶助費	2億7,235 万円
予防接種事業費	1億2,579 万円
がん検診費	3,811 万円

緊急雇用創出事業	3,891 万円
ふるさと雇用再生特別基金事業	848 万円
有害鳥獣対策事業費	6,217 万円
コウノトリと共に暮らす郷づくり事業	384 万円
地籍調査事業費	2億4,896 万円
中小企業融資事業	2億5,000 万円
街なみ環境整備事業（口銀谷地区）	2,334 万円
まちづくり交付金事業（和田山駅前）	9,525 万円
街なみ環境整備事業（竹田地区）	2億6,636 万円



ただけ暮らしの交流館に整備予定の
旧木村酒造



糸井小学校のパソコン教室

住宅マスタープラン策定事業	980 万円
小学校パソコン整備費（378台）9校	3,556 万円
中学校パソコン整備費（168台）4校	1,534 万円
和田山中中学校校舎改築費（設計委託料）	2,883 万円
竹田城跡周辺保全事業	630 万円
文化会館自主文化事業	4,429 万円

予算特別委員会審査報告

■議長を除く 18 人の議員で構成する特別委員会（分科会方式）を設置して、一般会計・特別会計予算等 13 件を審査しました。審査意見を紹介します。（委員会開催日数：延べ 11 日）



▲予算特別委員会の様子

一般会計予算

予算額
3,313 万円

■支所及び和田山地域振興課で今年度から 3 年間にわたり取り組む事業であるが、事業内容については、各地域の自治協議会と連携を取りながら取り組むものや支所独自で取り組む事業等さまざまである。実施事業については、成果と評価をしっかりと行い、本来の目的である地域のシンクタンク機能としての役割を一層充実・強化されたい。

地域のシンクタンク機能の役割を強化せよ！

支所提案型活性化プログラム（3 年間事業）

ただし、和田山地域振興課で取り組む事業については、「和田山みらい・夢協会」と「わくわく和田山みらい塾」あるいは他の団体との関係が明確にされておらず、事業の実施に当たっては、事業主体を明らかにした上で取り組まれない。なお、「但馬牛・食の本場アピール事業」については再検討されたい。

予算額
1,506 万円

新庁舎整備については

市民や議会の意見を反映されたい！

現本庁舎位置での建設について

■現本庁舎位置に庁舎建設をしたいとの市長から表明があり、予算としてはボーリング調査費及び基本計画策定費が計上されている。しかし、庁舎整備の方針については、これまで市民への説明がされていない。市民に対し十分に説明するとともに、基本計画策定に当たっては、市民や議会の意見が反映されるよう取り組まれたい。

予算額
1 億 4,000 万円

運営方法を検討されたい！

ただけ暮らしの交流館整備

■平成 23 年度は母屋を除く周辺の整備が予定されており、整備工事の発注は、運営組織及び運営方法の決定後としている。この施設の整備に当たっては、国史跡「竹田城跡」の麓に位置する施設として、全国の山城に関する資料の集積、展示等により山城情報の発信拠点としての機能を中心にした施設として整備をするべきで、単なる地域の交流施設ではなく、市全体の活性化を求める施設としての整備が必要である。今後の運営方法等を含め十分に検討し着工されたい。

予算額
9,640 万円
路線バス
アコバス事業合算

アコバス継続、再編は市民の理解を前提に！

地域公共交通基本方針策定

■コミュニティバスの運行継続について、市において地域公共交通の基本方針を策定し運行形態を再編することである。再編に当たっては、市民に分かりやすく説明し、理解を得ながら進められたい。なお、山東支所提案型事業として進められている自主運行輸送事業とも、十分な連携をとって進められたい。



予算額
2億5,000万円

市内中小企業へ

さらなる支援を！

中小企業融資制度

■中小企業融資制度で新設する「経営革新支援資金」「企業育成資金」「開業資金」において、平成23年4月1日以降の融資実行分から、3年間の利子補給をする予定であるが、新制度の融資限度額は、「経営革新支援資金」が3千万円、「企業育成資金」が2千万円、「開業資金」が1千万円とされている。

企業の経営革新、育成等を図る上からも、融資の限度額について検討されたい。

また、商工業の振興、活性化のために支援制度のな一層の充実を図りたい。

予算額
6,217万円

鹿・猪・猿の被害防止強化を！

有害鳥獣対策

■鹿、猪、猿の有害鳥獣については、様々な対策等を講じることにより農作物の被害防止の軽減になお一層努められたい。また、アナグマ、アライグマなど小動物の被害も拡大しつつあるため、関係機関と連携し被害状況等の把握や対策についても早急に検討すること。

予算額
2,883万円

(東棟改築工事の設計委託料)

早期実施を望む！

和田山中学校校舎改築



▲和田山中学校

予算の採決の状況

一般会計

国民健康保険特別会計

下水道事業特別会計

介護保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

賛成多数

住宅資金貸付事業特別会計

水道事業会計

工業用水道事業会計

簡易水道事業特別会計

と畜場特別会計

宅地開発事業特別会計

休日診療所特別会計

財産区特別会計

全会一致

■和田山中学校校舎改築工事について、担当課の説明によれば、南棟を地震補強及び大規模改造工事を行い、かつ、東棟を新築した場合の概算事業費は、約12億6,400万円、すべてを改築した場合の概算事業費は、約17億7,400万円であるということであるが、後年度普通交付税算入を加味した実質一般財源は、前者は約3億8,100万円、後者は5億9,400万円と

なり、その差額は2億1,300万円である。

また、耐震補強をした場合の、耐用年数は特定できないとの説明であった。長期的に見た費用対効果を十分に検討し、事業を進められたい。

■平成22年度一般会計補正予算（第5号）

現計予算額207億4,800万円に1億8,300万円を追加し、歳入・歳出それぞれ209億3,100万円にするものです。各常任委員会で審査され、本定例会最終日に全会一致で可決しました。補正された主なものは、次のとおりです。

追加補正

◇小中学校エアコン設置
（8小学校分）

1億9,100万円
（3中学校分）

5,700万円

◇除雪対策事業（追加）

4,680万円

◇生野支所周辺整備費（臨時）

3,755万円

◇人件費（臨時）追加

8,765万円

（退職手当特別負担金等）

減額補正

◇南但広域行政事務組合
負担金

（事業年度更正によるもの）
1億9,481万円

◇公有林整備事業
（作業道開設事業次年度へ）

2,100万円

◇子ども手当
（実績見込による）

2,870万円

主な質疑

問 エアコン設置時期については、いつ頃を予定しているのか。

答 8月末の完成としている。

問 工事費は一括発注すると安価になるが、例えば学校ごとに分離発注すれば、完成も早くなり、地域業者で対応できるというメリットもある。考えは。

答 地域の活性化、工期短縮ということからも、分離発注も検討する。

問 暑いときは暑いという教育も必要と思うが、エアコンを設置することへの教育上の配慮は。

答 適切な温度設定とエアコン管理については、学校長等とも相談しながら決定する。

問 今冬の豪雪により除雪費が増になっているが、除雪の出動回数と委託業者数はどれくらいあるのか。

答 当初予算では1千万円を見込んでいたが、1月末で約3,100万円。1月末時点での出動時間は1,932時間、委託業者は29業者。

問 除雪に関して、市民から遅いというクレームがあったが。

答 委託業者によつては担当する路線の数、距離等により除雪に時間がかかっている箇所もある。新たな業者等からの声も聞いており、来年度からは早く除雪できるよう考えたい。

問 不景気等により除雪を委託する建設業者等が廃業、重機の維持管理が難しいという声を聞いているが。

答 市で保有している重機を業者に貸し出すなどしているが、今後はさらに検討したい。

小中学校の
エアコン設置時期はいつか？

答 出来るだけ早期にしたいが

8月末を予定

ケーブルテレビについて議会から市に意見を述べました！

地上デジタル化移行に伴う相談窓口の設置時期を、可能な限り早めるとともに、市民の実状を改めて調査、把握し、きめ細かな対応策を進められたい。

総務常任委員会

3 月 補 正 予 算 一 覧

※いずれも可決しました。

単位：千円

会 計 の 別	補正額	予算総額
一般会計（第5号）	183,000	20,931,000
水道事業会計（第2号）（収益的支出）	△14,108	724,781
水道事業会計（第2号）（資本的支出）	80	554,838
宅地開発事業特別会計（第1号）	5,600	56,500
下水道事業特別会計（第2号）	10,600	1,306,500
介護保険特別会計（第2号）	（差し引き）0	3,345,000

※介護保険特別会計は、各種サービス給付費の増減調整

報酬等審議会って？

市長が設置する審議会で、市長・副市長・教育長、議会の議員、各種委員会の委員の報酬等の額について審議するところです。

市の財政状況や、社会情勢、地域経済等の状況を踏まえ、市長に対して意見を述べます。委員には幅広い分野から市内の方に就任いただき審議されています。

【今回の答申による改正】

委員会		現行	改正
監査委員	学識経験	年 36 万円	年 45 万円
	議会選出	年 20 万円	年 23 万円
農業委員会	会長	年 25 万円	年 30 万円
	職務代理	年 21 万円	年 25 万円
	部会長		
	部会長職務代理	年 20 万円	年 24 万円
	委員		
表彰者選考委員会		※新設	日 9 千円

問 委員会等への出席回数が増が改正の主な理由か。

主な質疑

報酬等審議会の答申により監査委員、農業委員等の報酬を改正するもの。

■委員の報酬及び費用弁償条例の改正

答 合併以前に比べて増えているのは事実。

監査委員については、その監査機能の強化・充実に努めること、農業委員については法改正等により職務権限が増え、現地調査・確認等のため出務回数が増えている。

3月定例会で審議した主な議案



条例改正から ピックアップ!

★ケーブルテレビについて

現在CATVに加入の方は、デジタルテレビに買い替えるなくても、平成27年3月末まではそのままテレビを見ることが出来ます。ただし、ホームターミナルの新規貸し出しは4月以降はありません。地上デジタルの視聴に関して分らないことは、相談窓口が設置されますので、お問い合わせください。

件 名	結 果
水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部改正 ※目標年次における経営の基本事業を変更するもの	全会一致 原案可決
⑨ 名誉市民条例の制定 ※朝来市にゆかりの深い方、卓絶した功績のあった方を名誉市民とするもの	
⑨ 功労者表彰条例の制定 ※朝来市の文化向上等に顕著な方を表彰するもの	
CATVシステム条例の一部改正 ※地上デジタル放送に伴うもの	
市立幼稚園条例及び認定こども園条例の一部改正 市立保育所条例の一部改正 ※すみれ保育所の廃止、大蔵保育所・大蔵幼稚園を大蔵こども園とするもの	
まつぼっくり等の指定管理者を指定するもの ※4施設の指定管理者を朝来市社会福祉協議会に指定するもの	
国民健康保険条例の一部改正 ※出産育児一時金 42 万円の支給について継続するもの	
大蔵小学校校舎地震補強・大規模改造工事請負契約の締結 【契約の相手方】 福井建設・ふじ特別共同企業体 【契約金額】 5 億 7,120 万円	採 択
「交通基本法」の理念に基づく鉄道分野への 政策推進を求める請願	
治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める請願	不採択

2 会派代表と10 議員が登壇！

市政を問う

3月8日(火) 6名
9日(水) 6名



朝来市議会では代表・一般質問は答弁を含め一人50分以内となっています。内容は各議員が500字程度にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。



庁舎の建設位置について

緑の絆 大田垣 強

問 この度「新庁舎の位置は現位置とする」と発表されました。市長は合併協定書、庁舎建設検討委員会提言を尊重しなければならぬ立場にあるのでしょうか。

答 当時の関係者として、十分承知いたしております。市長職につくにあたり、庁舎の問題については選挙公約として極力費用をかけない、華美なものにならないとして支持を得ていると心得ています。

問 現在位置の決定は、どのような市民参加を得て、又、どのような行政手続きで決定されましたか。

答 これまでの一般質問で議員には一定の理解を得ているものと考えています。又、検討委員会のメンバーの方にもご理解を得ています。

問 仮に合併協定書に「事務所的位置は東谷もあり得る」と記載されていたとしたら、合併できたと思いますか。

答 合併協定書の内容等々を見ると、なかなか難しい問題であると思う。

問 312号線沿線に建築するとして場合、跡地利用は病院か、宅地開発を提案したいが如何でしょうか。

答 和田山駅北の区画整理も整備され、駅南も完成間近であり、駅前の活性化に寄与すると認識している。



▲朝来市本庁舎



市民が求める朝来市の医療は

日本共産党議員団 鈴木逸朗

○「新病院建設」提起の報告書、まず市民に説明を

問 梁瀬・和山医療センター連携検討会議報告書では、「他の医療機関との連携と役割分担を前提として両医療センターを統合した新病院の建設を提起」した。報告書の評価は、

答 十分吟味すると同時に、真剣に議論された経過であり、結果を尊重したい。

問 病院組合が行った報告書のパブリックコメント結果への感想は。

答 必要とされる病院の概要については基本的に異論がない。二ミズのある診療科をプラスしていけたらなおいい。

問 市民に報告書の周知、説明をどのように行うのか。

答 明確にはしかねるが、手立てを打つ必要はある。

○市民が意見を述べられる場を

問 新病院は歓迎だが、診療機能は充実しないとの不満。ベッド数も減るとの声も。

答 昨年の市民アンケートでは、休日夜間の体制充実が一番、二番目が入院機能の充実。応えられる可能性

を秘めている。

問 患者はもちろん、医師にも魅力ある病院をつくるのが大事ではないか。

答 産婦人科、小児科がほしいとの意見も。市民要望の把握に努めることは必要。

○新病院と両医療センターの後利用の検討は同時に

問 「その他の課題」とされる「両医療センターの後利用」は重要。市内の医療をどうするのか、セットでの検討が必要。特に梁瀬医療センターをどう活用するか。

答 比較的新しい施設をどう生かすかは大きな課題。少し猶予をいただきたい。



▲比較的新しい梁瀬医療センターの後利用の検討が大切です。



新庁舎建設位置

合併協定との整合性は

洲本 稔

問 市長は施政方針で、新庁舎建設位置は、現在の市役所本庁位置で行うと表明されたが、合併協定では和田山インター付近という議論を踏まえ、国道312号沿線と確認し調印された。庁舎建設検討委員会でも、和山山インターから消防本部にかけての地域を提言された。

これら市民合意されたものと施政方針の整合性を問う。

答 合併協定や検討委員会の報告は尊重したいが、財政状況や農振農用地であること、病院問題もあり、現在の庁舎位置としたい

○景観形成団体へ

問 昨年、市長は養父市長とともに鉱石の道サミット宣言を行い、世界遺産登録をめざすと言明された。そのためには、前提となる景観形成団体とならなければならない。近代化産業遺産としての生野銀山・神子畑選鉱場、歴史遺産の竹田城、梁瀬の歴史街道、与布土を始め市内各地の田園風景と市内は魅力あふれる資源がたくさんある。それぞれの特色をいかした景観を保存するため、景観条例や景観計画を早急に立案・施行

しなければならない。

答 世界遺産登録をめざして、景観条例や景観計画の策定は議会や市民の理解を得ながら進めていく。

○情報通信革命に対応を

問 情報通信革命がますます進展する中で、情報モラル教育を踏まえ、自分の人生設計、社会貢献等に積極的に対応できる力を養うことが求められている。

答 電子黒板、電子教科書に対応しながらコミュニケーション能力を高め、教師のスキルアップも図る。



▲世界遺産をめざす史跡生野銀山



入札制度改革及び

人事評価制度について

吉田 俊平

○入札制度改革について

問 現在の朝来市の一般競争入札と指名競争入札の件数及び割合は。

答 平成17年以降、1330件の入札を執行し、一般競争入札は12件、指名競争入札は1318件で、一般競争入札は0.9%、指名競争入札は99.1%。

問 「公共工事の入札及び契約の適正化の推進に関する法律」及び「公共工事の品質確保の推進に関する法律」で義務付けられている一般競争入札の拡大と総合評価方式の導入・拡大を行うべきである。

答 一般競争入札は平成23年度以降、大規模な事業で行いたい。また総合評価方式についてはスムーズな事務執行が図れるよう内容等の検討を行っている。

○人事評価制度について

問 現在の人事評価制度を最終的には職員の給与等に反映すべきである。

答 評価結果に応じた適正な処遇等については人事評価制度の目的の一つであり今後において研究をしたい。

平成17年以降の入札状況

一般競争入札	12	0.89%
指名競争入札	1,330	99.11%
計	1,342	100.00%

地方自治法施行令
(昭和二十二年五月三日政令第十六号)

第六百六十七条 地方自治法第二百三十四条第二項の規定により指名競争入札にすることができる場合は、次の各号に掲げる場合とする。

- 一 工事又は製造の請負、物件の売買その他の契約でその性質又は目的が一般競争入札に適しないものをするとき。
- 二 その性質又は目的により競争に加わるべき者の数が一般競争入札に付する必要があると認められる程度に少数である契約をするとき。
- 三 一般競争入札に付することが不利と認められるとき。

▲朝来市の入札及び契約について



朝来市のコウノトリ舞う農業

木村 圭介

問 今年の野菜のハウス事業の補助予定はどうなるか。

答 (昨年10人、13棟)予算600万円、20人程度の申請が可能。

○有害鳥獣対策は

問 鹿、小動物、猿などの対策、新たに施策はあるのか。

答 捕獲檻を14基購入、猿追い犬の育成、轟音球の講習会。追い払い隊の育成、組織化必要。南但広域行政事務組合での鳥獣害共済基金造成事業を夏以降に実施する。

侵入防止柵の自力施工に対して、メーター当たり2300円補助。

○若い就農者、担い手の育成

問 若手就農者、担い手に対しての市独自育成、助成の考慮は。

答 新規就農者、集落営農組織に対し市独自に整備、就農相談、国県の補助金の活用で側面からサポートする。

○コウノトリも住み続ける農業

問 環境保全型農業を進めていく中で、コウノトリ放鳥事業をどういう

位置づけにしているか。

答 コウノトリが早く住める環境の地であることをPRする。

問 放鳥は具体的には。

答 県の検討段階で決定ではないが、地元が約2000㎡の用地を用意し、県が飼育ゲージを設置する。9月頃に親鳥のペアを飼育、繁殖させて、巣立ちをした幼鳥を翌年7月に放鳥する計画。地元地域には、飼育に当たり飼育管理業務、見回りなど委託する。コウノトリ放鳥に向け、地域環境の整備、特にビオトープなども検討する。



▲ハウス利用で生産増に

一般質問



事業は多角的な視点で、後戻りのない計画を

TPP（環太平洋連携協定）に備えた農業構造創れ

中島利信

問 基金の外国債による運用に伴う現段階の損失見込み額は見当もつかない。また、上水道管路の山東・生野・朝来3地域の漏水を食い止め、和田山地域並みの有収水量を確保するには約58億円もの補修費が必要。

答 さらに、ケーブルテレビの線路や電話機の老朽化に伴う補修経費は約13億円に上る見込みだという。このように、施策実施や設備設置当時の見通しの甘さや技術情報の不足、トップの政策判断の誤りに起因すると思われる多額の資金を必要とする難問が次々と発生している。本市では今、小・中学校の耐震補強工事を精力的に進めているが、どの程度の強度が確保され、絶対安心で、後戻りのない工事だと言い切れるか。

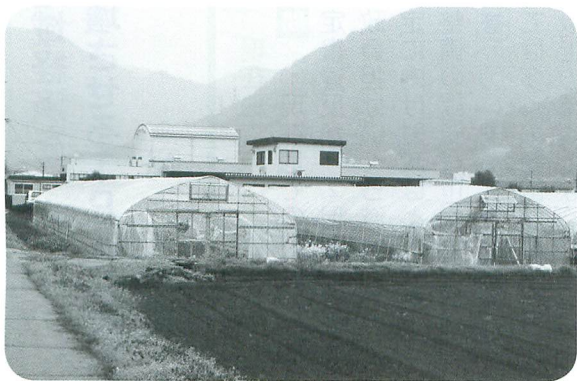
特に今、前述のように各種事業で実施後、短期間のうちに様々な問題が発生している。事業実施に当たっては、専門的な検証能力と危機感、緊張感を持つて当ることが肝要だ。

答 小中学校の耐震補強工事については、兵庫県の耐震診断改修評価委員会の審査を受け、文部科学省が定

める構造耐震判定指標をクリアしていることが確認された後、市は、業者との受け渡しを完了することになっています。

問 政府が進めようとしているTPPに対する市の対策は…。

答 地産地消はもとより、農産物の有利な販売と周年栽培を目指して、野菜などハウス栽培に力点を置いていきます。



▲付加価値の高い農業経営の実現に向けハウス栽培など施設園芸を強力に推進



市民が求める梁瀬・和田山医療センター統合による

新病院建設を

坪内一由

問 豊岡病院組合は、23年度に新病院の基本構想・計画策定予定であり、朝来市との協議は必要に応じて適時適切に対応したいとのことであるが、組合の動きに対応する今後のスケジュールはどうか。

答 現在は白紙の状態であるが、今後は、市民ニーズを十分に掌握しながら、市民が求める朝来地域医療を求めて行きたいと思っている。

問 朝来市民の思い考慮するならば、建設場所、交通弱者対策、診療科及び病床数等を包含し、医師等が関心をもち勤務したくなるような基本理念が求められると思うが、朝来市としての準備並びに対策は。

答 基本的には組合側の専権事項であり、要請があれば対応すると同時に他の医療機関等との連携など意見具申もしながら朝来市民のニーズに耐えうる病院建設に向け対応したいと思っている。

○水道事業の健全経営には、有収率の向上を

問 この度の水道事業経営認可変更申請に伴い、有収率を89%にUPさ

れましたが、現行の生野、山東、朝来3地域合算の有収率72%から判断して、かなり厳しい数値設定であるが、今後の対応策は。

答 数値目標は、和田山地域の有収率が95%を維持していることから、生野・山東・朝来についても、同レベルに引き上げが可能との希望的観測を含め、企業の努力目標として31年度の数値を89%に設定したものである。現行の漏水は過去経過もあることから、塩ビ管を鋼鉄管に布設替える必要があり、多額の費用を必要とする。したがって、早急な対応は難しく、漏水の多いところから順次管路の更新を内部留保資金の残高を注視しながらの対応を考えている。



▲統合により改築が予定される和田山医療センター



農林業と地域経済を
崩壊させるTPPに反対を
岡田 和之

問 環太平洋連携協定（TPP）に参加し、関税が撤廃された場合、市内農林業への影響は。

答 農水省の試算に準じると米ではこだわり米以外で12億1千万円の減少、林業にも大きな影響が。

問 かなりの影響が出るのは確実。経営規模拡大と戸別所得補償で市内の農業は維持できるのか。

答 中山間地での経営規模拡大は困難。所得補償以外に価格下落が続けば新たな保護策が必要となる。

問 TPPと農林業の維持、自給率向上は両立できない。「GDP比は1.5%の農業が犠牲になってもTPP参加で国民全体の利益になる」のか。

答 農業は市の基幹産業であり、国土を守り環境を保全する貴重な財産である。GDP比率に関係なく守らなければならない。

問 TPPは金融や保険、公共事業など24分野を対象とし、非関税障壁の撤廃等、市民生活や地域経済に影響は大きい。参加に反対すべきだ。

答 いろいろな考えがあることを認識して対応したい。



▲ TPPで朝来の農業はどうなる

○現在地での庁舎整備の課題は何か。

問 ①現在地での庁舎整備は合併協定書違反か。②現在地整備で市の財政負担はいくら減るのか。③一本算定に向け財政はどうなる。④現在地整備の課題と市民への説明は。

答 ①「国道312号沿線」については多くの議論があった。②7億円以上の減額となる。③何もしなければ約22億円の財源不足の可能性も。④3棟の庁舎のどれを残すのか、駐車場、工事中の業務や安全対策等が課題。今後基本計画を示して説明したい。



新庁舎と新病院建設は和田山1人勝ちでなく
全体のバランスが必要
上谷 廣志

○新庁舎建設について

問 旧4町の合併のシンボルとして新庁舎建設位置は、312号沿線に建つものと我々は思っていた、ところが、リーマンショックや市長が変わり、建設の費用は身の丈に合ったもので、現庁舎を有効に使うという方針に大転換がなされた。生野・朝来町から見ればシンボルとなる庁舎の夢・ロマンが消えました、南に住む人の失意・挫折感をどう見るか伺う。そして遠方の地域の方々への政治的な配慮が必要であると思うが市長はどう理解するか伺う。

答 生野地域にあつては生野地域専属の包括支援センターの設置とか対処したい。

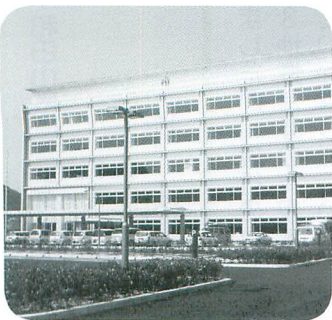
問 せっかく4町が合併して朝来市となった、和田山1人勝ちでいいのか、全体のバランスが必要と思うが如何か、昔親がようかんを4人の子どもに与える場合、親は尺で計り4つに切り与えた、そうしたら子どもは喧嘩は収まった、駅前周辺においては50億円強の経済波及効果があると試算されたが他町は何も潤わないどうするのか。

答 私は街づくりにおいてこの地域だけが潤ったらいとは思わない、等しく見ていく。

○新病院建設について

問 和田山・梁瀬医療センターが統合した場合150床から200床程度といわれ、面積は1万4000、1万7000m²と言われているが御所見を伺う。

答 豊岡病院組合で連携検討会議を立ち上げて頂き報告書が出された。報告書に基づき豊岡病院組合の思いを十分勘案し内容をしっかり受け止めて行く、病院に來られる方々の数は庁舎の比ではない、周辺の整備は進み経済的な波及効果の面も出てくる。



▲ 25億円規模の新庁舎
(宍粟市)

一般質問



知恵と意地で「元気な朝来市」を

次世代へ

日下 茂

○知恵と維持を出せ朝来市職員

問 豊岡市の玄さんの活躍が新聞紙上を賑やかせている。新型特急のPRや病院の子供を見舞ったり、バレンタインデーに玄武洞に出現したり、またご当地キューピーも注目されている。元気な豊岡市を見て朝来市の部長、主要課長は負けとれんぞという気にならないか。

答 玄さんの活躍ぶりは新聞雑誌、TV等で見えて感心している。そういった発想を促す職員の存在があることは議員からも聞いている。朝来市も柔軟な発想を持つ職員、玄さんに負けないキャラクターが出現してくれることを望みたい。

○B1グランプリ参加に知恵と努力を

問 今秋、姫路でB1グランプリが開催されるが、朝来市は参加の考えはあるか。

答 生野ハヤシライスを参加させたいと考えている。

問 市内で人気を持ち、他の地でマネされない技法と努力が必要である。産業の振興に市場調査とグランプリの予選会場に但馬が立候補すること

は不可能か。

答 議員ご指摘のとおり産業の振興の分野においては大変重要である。

○糸井橋踏み切り付近にJRの新駅を

問 糸井地区、大蔵地区南部の通学生、通勤者は電車の利便性が悪い。プラットホームのみで新駅の新設が可能だが一度検討すべきでないか。

答 実現の可否は別にして大変興味深い話だ。

○保育料の軽減は困窮世帯を優先せよ

問 保育料の軽減の検証をしたか。

答 入園者数が対前年度88人増加した。指摘の検証を十分にしたい。



▲新駅構想は（糸井踏切付近）



有害鳥獣対策について

吉田 富郎

○但馬管内に射撃場の設置を

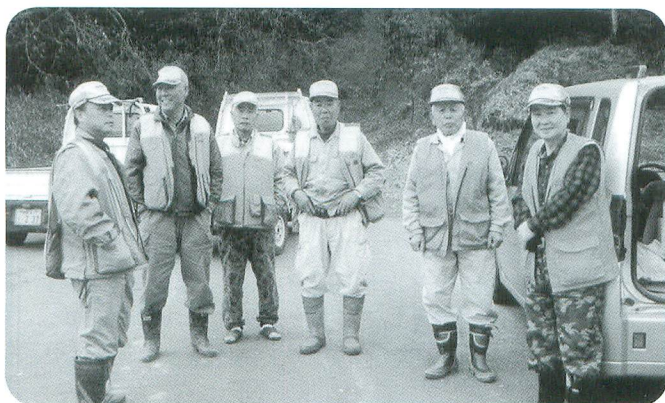
問 有害鳥獣による被害が増大し、農林業の生産意欲に弊害をきたしています。ハンターの高齢化と銃刀法の改正によって銃所持許可証の更新時に技能講習が義務付けられています。後継者を育成するためにも射撃場が必要と思いますがお考えをお聞きます。

答 猟銃所持者の高齢化は但馬全域に広がっていて受講することが困難になっています。但馬三市二町で組織する自治協議会から兵庫県知事に対して射撃場設置の要望書を提出したところですが、今後但馬一つになつて要望してまいります。

○地域医療について

問 梁瀬・和田山医療センター連携検討会議において、市内の地理的な問題・防災上の問題から市内全体の医療確保の観点から新しい場所に病院を建設することが合理的であるという報告書が提出されましたが費用削減のために現有施設の活用が考えられないですか。

答 市民の多くの方は地域医療の充実が当然であり、とりわけ入院・救急の対応が必要であります。病院の建設については公立豊岡病院組合・豊岡市・朝来市の三者で対処しなければなりません。市民の皆様にご理解をいただきながら全力を挙げて進めていきます。



▲活躍するハンター



「縮小する社会」を見据えよ！

太 田 則 之

問 国勢調査の結果、当市の人口は五年で一九七二人減った。五十年後最悪一万八千人という県の低位の推計を上回る減少率で進んでいる。

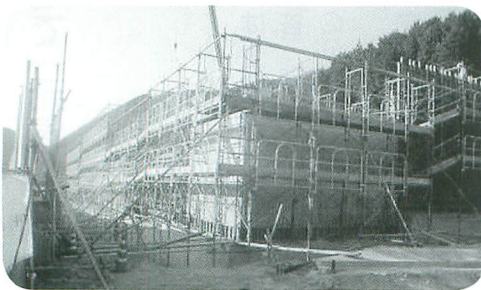
答 憂えるべき状況だ。一層行財政改革に努め、選択と集中を図ると共に、人口増対策を講じたい。

問 縮小する社会を見据え、百年先も市民が幸せに暮らせる「永続可能なまち」に向けた長期ビジョンを市民の総意で作上げよ。

答 そついう思いで、今年度「後期総合計画」を策定する。

問 人口減の中で、市内総生産を増やす「経済成長戦略」を策定し、経済の自立を目指すことが地方自治体の最重要課題の一つである。

答 今年度、産業振興部を産業経済部に変更し、商工観光課を経済振興課と観光交流課に分け対応していく。



▲工事中の南但ごみ処理施設

○ごみ処理について

問 新ごみ処理場が供用開始となれば、収集も南但広域で行う方が効率的では。

答 養父市と十分協議をしていく。

○アコバスの見直し、再編について

問 十月からの再編に向け、高齢者だけではなく全市民の足となるよう毎日運行も含め、市の将来の公共交通の展望を示されたい。

答 毎日運行は理想だが、路線バスとの関係、法的規制等大変難しい。模索して参りたい。

10万円の義援金を送金しました！
(議員一人当たり5千円)

東日本大震災で犠牲となられた方々に対して哀悼の意を表すとともに
被災者のみなさんに心からのお見舞いを申し上げ、被災者救援の決議を行いました。

【決議全文】

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード9.0という日本での観測史上最大とされる巨大地震となり、続いて沿岸を大津波が襲い、死者と行方不明者が2万人を超えるなど、私たちの想像を超える大災害となっています。合わせて原子力発電所が深刻な状態に陥り、避難所で生活をされる方は30万人を超えるなど、日々の深刻な被災情報に接した多くの国民、市民は、深い悲しみと被災者への連帯の心情を有しています。

朝来市議会は、犠牲となられた方々に対して哀悼の意を表すとともに、被災者のみなさんに心からのお見舞いを申し上げます。

この国民的救援と復興が必要な時に際して、政府、国会におかれては党派の違いを超えて、あげてここに力を傾注すべきです。人命救助はもとより、避難所施設の改善をはじめ、すべての被災者の生命を保障する食事、寝具、暖房などの生活手段と必要な医療や燃料などの提供、そして仮設住宅、公営住宅、借上げ住宅の提供など、従来の枠にとらわれず緊急で最大限の救援対策を講じられるよう要望します。

また原子力発電所周辺から避難を余儀なくされた住民の生活や、農業者や畜産業者などへの影響も広範囲で、大きくなりつつあります。正確な情報の提供と速やかな終結に向けて万全の対策をとるとともに、避難者の不安と日常生活への対策と被害を受けた生産者への保障の枠組みを早急につくられるよう要望します。

2004年台風23号などの災害に際して、多くの方々から温かいご支援をいただいた朝来市民として、当時を思い起こし可能な限りの救援対策に取り組むとともに、被災自治体と住民のみなさんが勇気をもって生活再建と、復旧復興をすすめられることを願って、ここに朝来市議会として決意を表明し、決議します。

平成23年3月30日(全会一致で可決)

朝来市議会議長 能見 勇八郎

一部事務組合議会の報告

公立豊岡病院組合議会

平成23年第1回定例会
(3月2日～25日)

平成23年度予算、平成22年度補正予算、条例改正など5件が審議され、いずれも可決されました。

■平成23年度一般会計予算

医療の充実として、梁瀬・和岡山医療センター統合に向けた基本構想、基本計画の策定費などが計上されました。

収益的支出

186億370万円

資本的支出

28億1、987万円

■平成22年度一般会計補正予算(第5号)
資本的支出
長期勤続退職者増等により
4、131万円を増額するもの。

朝来市の分賦金は約4億7、402万円となっています。

南但広域行政事務組合議会

第105回定例会
(2月7日～18日)

平成23年度予算、平成22年度補正予算、南但ごみ処理施設用地造成工事の請負契約変更など12件が審議され、いずれも可決されました。

■平成22年度一般会計補正予算(第1号)

ごみ処理整備事業に伴う増減と事業実施見込みにより、5、665万円を増額して、9億9、465万円にするもの。

これに伴い朝来市の分担金は約1億9、481万円減額となりました。

■平成23年度一般会計予算

総額は16億3、800万円でごみ処理施設整備により昨年度に比して7億円の増となっています。

朝来市の負担金は約6億9、165万円となっています。

議会の動き

2月

- 1日 第10回臨時会(閉会)
総務常任委員会
- 4 播但議長会(たつの市)
- 7 南但広域行政事務組合議会(定例会初日)
- 8・9 議会広報特別委員会管外視察
- 14 文教民生常任委員会
- 15 産業建設常任委員会
総務常任委員会
- 17 兵庫県市議会議長会(神戸市)
- 18 議会広報特別委員会
議会運営委員会
南但広域行政事務組合議会(閉会)
兵庫県後期高齢者医療広域連合議会(神戸市)
- 19 議案説明会
- 21 政策説明会
- 22～25 但馬広域行政事務組合議会(養父市)
- 23 第11回定例会(初日)
- 28 産業建設常任委員会

3月

- 1日 第11回定例会(第2日)
予算特別委員会
- 2 公立豊岡病院組合議会(定例会初日)
基金運用問題調査特別委員会
- 7 総務常任委員会
議会運営委員会
- 8 第11回定例会(第3日)
議会運営委員会
- 9 第11回定例会(第4日)
総務常任委員会
予算特別委員会(総務分科会)
- 11・14 文教民生常任委員会
産業建設常任委員会(産業建設分科会)
- 15・17 予算特別委員会(産業建設分科会)
- 16・22 文教民生常任委員会
予算特別委員会(文教民生分科会)
- 18 公立豊岡病院組合議会(第2日)
- 23 総務常任委員会・産業建設常任委員会
予算特別委員会(総務・産業建設分科会)
- 25 公立豊岡病院組合議会(閉会)
議会運営委員会
- 28 予算特別委員会
- 30 第11回定例会(最終日)

4月

- 5日 産業建設常任委員会
- 7 議会広報特別委員会
- 12 総務常任委員会
- 14 議会運営委員会
- 20 議会広報特別委員会・総務常任委員会
- 22 議会運営委員会・産業建設常任委員会
- 25 文教民生常任委員会



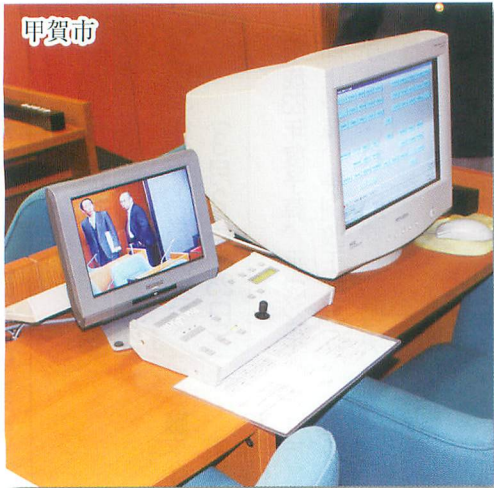
▲地震補強工事が予定されている大蔵小学校

一般会計補正予算(第4号)
■大蔵小学校大規模改造・地震補強工事、地域活性化・きめ細かな交付金事業(11事業)及び住民生活に光を注ぐ交付金事業(7事業)と、子宮頸がん等の予防接種事業費を追加するもの。

第10回 朝来市議会臨時会

1/26～2/1

第10回臨時会は、1月26日から2月1日の7日間の会期で開かれ、専決処分1件、補正予算1件を全会一致で可決しました。



議会ネット中継は、インターネットを活用して議会を中継するもので、現在朝来市ではCATVでの生中継を行っています。現在研究中です。愛知県大口町議会だよりは全国町議会議長会で、何度も入賞(優秀賞2回)されています。朝来市議会も市民の皆さんに読みやすく親しんでいただける議会だよりづくりに励みます。

なるほど
The
先進地！
2/8・9

調査事項
● 議会ネット中継 (三重県亀山市・滋賀県甲賀市)
● 議会だよりの作成 (愛知県大口町)

今年度も議会報告会を開催します！

平成23年議会報告会
～開かれた議会をめざして～

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※多数のご来場お待ちしております。

場所・日時は別途配布の
ちらしをご覧ください。
のついた日に開催します。

6月定例会の予定

6月6日(月) 議案審議
17日(金) 一般質問
20日(月) 一般質問
21日(火) 一般質問
7月1日(金) 議案審議

■本会議は、ケーブルテレビで生中継します。
■本会議・委員会の傍聴などお問合せは
議事事務局へ TEL 672-6129

意見書を提出しました

議員提案による意見書を全会一致で可決し、関係機関へ提出しました。意見書の主旨は下記のとおり。

「交通基本法」の理念に基づく 公共交通分野への政策推進を求める意見書

【要請の主旨】

地域における少子高齢化が急速に進む中で、自ら自動車を運転しない高齢者や学生等、交通弱者の移動手段を確保し、公共交通の健全な発展を維持するため、政府において進められている「交通基本法」の理念に基づき、持続可能な総合交通体系の確立に向けて要請するもの。

【要請事項】

- 1 自ら自動車を運転しない高齢者や学生等、交通弱者の移動手段を確保するため公共交通機関の整備を図ること。
- 2 公共交通機関の安定的な運用と総合的な交通体系の構築を図ること。

【送付先】

衆議院議長・参議院議長
内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・国土交通大臣